
オレの神様育成日記

マルボーロ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

オレの神様育成日記

【Zコード】

Z7662L

【作者名】

マルボーロ

【あらすじ】

読書好きなだけの普通の高校生・小野建。

ある日、彼の乗ったバスが事故にあってしまう。

気がつくと、彼は異常なほど満天の星空の下で倒れていた。

女の子を下敷きにして……。彼女はこの世界の“神”らしいのだが

……?

ヒロイン最強設定。コメディです、一応。

オノケン、不思議の国に拉致られた（前書き）

いつも、たまです。初投稿です。

他のサイトでちゅうちょく書いていますが、馴文です。

どうか生暖かい田で見守ってやってください。

オノケン、不思議の国に拉致られる

また 消えた

わたしは できない？

助け ロロニ

来る 来て

わたし 世界

救う 誰？

ツルギ

タスケ キテ！！

第一章 ゴウ トウ ザ 異世界

遅くなってしまった……。でも！悔いはない！俺はやり遂げた！

俺は、バスの外に向けていた意識を手元にある戦利品に向け満足に拳を握り締めた。

外はすでに太陽の勤務時間を大幅にオーバーしているのだから当然だが、もうどつぶりと夜の闇に浸かってしまっている。

俺は、おのけん小野健。自分では、一般的高校生であると自負しているし、周りの見解も俺と相違ないだろう普通の高校一年生だ。

しいて特徴をあげるとしたら、俺は本が好きだ。1ヶ月に30冊ほどの本を買いあさるほどに。特に、ファンタジーな展開を好む傾向にあり、

そう言つたジャンルならば、絵本からマンガ、果ては翻訳すらされていない海外の本も読みあさる。

当然、そんな生活を送るには金が必要であり、俺は万年金欠。日々スーパーの広告とにらみ合つてしたりする。

そんな俺が今日手に入れた至高の逸品。それは、1パック100円という超絶セールの豚肉だった。

並みいる歴戦おばかちゃんの猛者をかいぐり、途中髪の毛をふん摑まれながらも手に入れた逸品だ。

俺はそれを万感の思いでそれを眺めながら実に満たされた思いで人通りのまるでない坂道を登るバスに揺られていた。

そのときだった。

突然自分の周囲から音が消えた。と同時にフワリと自分の体が浮く感覚。しかし、それは一瞬で、すぐに巻き起こる衝撃と轟音。

俺は、バスの窓からすっ飛ばされていた。そのとき、俺は見た。今まで自分の乗っていたバスが目の前にある。それも、宙に浮いて。正確には落としている。

事…………故？

あまりにも突然で、故にありえないほど冷静だった脳みそにその言葉だけが響いた。

そして、俺はこの世界から消えた。

なに読んでるの?
本
どんな本?
コレ
おもしろい?
うん
どんなお話?
それは……

風? リル? 何?

目覚めると目の前には満天の星空が広がっていた。
それはもうアンドロメダ大星雲が降つてくるではないのかと錯覚を
起こしてしまうほどの現実感のない美しさをもつた夜空だ。
俺はそんなこの世のものとは思えないほどの光景のせいか、序々に
回復してきた体の感覚にも頭が追いつけずにいた。

「ウニ」の意味

そのときだった。俺の背中がなんとも言えない苦悶の声を発したのは。

「もけ～～～～！」

さうに俺は自分が動いてもいのに、体が動くという不思議体験をする！しかもなんかやわらけえ！

「む～～～～！～～うが～～～～～～～～！」

……とまあ冗談はこれくらいにしておいて、俺はどいつもやら誰かの上に乗つかつてしまつてゐるらしい。…………て

俺は飛び起きた。もうそれこそ背筋と腹筋がブチ切れるんじゃないかという勢いで起きた。もちろん下に敷いている人に一切負担がかからないよう“きをつけ”的姿勢のまま。

かからないよう“きをつけ”的姿勢のまま、一瞬、脊髄のあたりでブチリという妙に生々しい音がした気がしたが知ったことではない。そして俺はそのまま体がねじり切れるのではと思うほど勢いで相手にふりかかる。そこには……

「テテテ……なんだつうんですか、まったく」

オンラインコガイタ。ソレモアリエナイクライビショウジヨノ。

俺は地面にめり込みながら土下座した。

「すんません！…マジ、すんません！…別に調子こじてたわけじゃなくてですねなんか気がついたら乗つかつてたつて言つかいやいやいやいや言い訳つて訳じやなくてマジなんすけど

すんません！もうホント踏んでも、なじこても、エルボーエロッジフ
してもいいんでかむしりしてくださいいや俺がMだってわけじゃ

▪▪▪▪▪

俺は謝った。この17年間で一番。そしておそらく一生で一番くらいい、転生してもこれ以上はないくらい心の、魂の底から謝った。

「!?

謝つて、謝つて、謝つて、謝つて、謝つて、謝つて、謝つて、謝つて、謝つて

て、謝つて、謝つて、謝つて、謝つて、謝つて、謝つて、謝つた。女の子がなにか言つた気がしたがそれでも謝つた。

「ちょ、ちょっとおちつ

」

謝つて、謝つて、謝つて、謝つて、そろそろ喉から血の味がしてきて、まともに声を発することができなくなってきたころ。

「おいおいおいおいおい……ちょ、その首にかかった手はなんなんですか！？自分で絞めてんのになんでそんな死にそうになれてんですか！？待つて、ちょ、ホントマジ待つてくださいよ！グロイ！グロイから！泡吹いちゃつてますから！」

ようやく少女の声が耳に届いてきた。しかし、俺の意識はそこでフェードアウト。短い人生だった。でも、目の前の女の子は許してくれ…………たか……な

～完～

「重いわあああああああー……」

俺が現世から潔く黄泉の国に旅立とうとすると、何故か少女は俺の抜けがらとなつた体をものすごい勢いで振り出した。

「なにまとめんですか！それでワタシにビリとー！願い下げじゃボケエエエエエー！…」

俺の体は少女が容赦なく振り回すことによって、最早残像のよつにぶれて見えている。そして首は今にもちぎれそうである。
どうやらこの少女俺が勝手に死んでしまったヒジ不満のよつだ。自分で殺したいのか……なんて末恐ろしい。
と少女の将来のためにもさつと成仏しようとしていた俺だったが、少女があまりにも振りすぎて逆に俺の体は血のめぐりがよくなつてしまつたのか

「…………ふはああああー？ああ、あああああ、ちゅおおおお、ま
まおまおま、てててててて」

生き返りました

そしてそれと同時にフィードバックしてくる罪の痛み。主に首が折れそうに痛い。ていうか、何本か小骨が折れていそうである。まともこしゃべることもできない。しかも、少女は俺が黄泉がえつたことこ氣づいていないのか未だに、俺を振り続けている。

「死ぬなあああああー！立て、立つんだジヨーー！
「ち、ちがががががが、ててってか、ふふ、るるるる、いいいわ！
！」

いかん。このままでは、頭蓋骨からなんか内臓的なものが出る。くつ、せっかく生き返ったのに死んでたまるか！
うおおおおおー！立て！立つんだ！ケンーー！俺は紙一重で無事である腕に意識を集中させると、ミキサーにかけられたような視界のなかでなんとか少女の腕を探り当て掴みかかった。

ワシツ！
よし掴んだ！

途端にピタリと止まる少女の動き。もうほん俺の動きも止まる。しかし意識はまだしつかりせず、油断したらすぐさま途切れそうだった。俺はそろはなるまいと必死で意識にすがるよつに少女の妙にやわらかい腕をより強く掴もうとした。

「 % * ¥@フフフフ ! ! ! !

女の子の声にならない叫びが聞こえたような気がした。そして次の瞬間には衝撃。もう人中だった。

「ぐはああああ！」

俺はギュルギュルとキリモミ飛行をすると、そのまま何バウンドか地面をはねようやく停止した。

「な、なにをせらしてくれとんですかああああああああああああーーい、いきなりムムム」

女の子がもはや悲鳴に近い声をあげていたが、はて、そんなに腕を触られたのがいやだつたのか。

どんだけ純情なんだ、イスラエルでもまだマシだぞ。そんなツッコミをいたがつたが、生憎今俺は顔面を割らんばかりの痛みと先ほどまでの脳内ミキサーで限界だった。

俺の意識は、今度は旅立ちコントをするヒマもなくブラックアウトしていった。

「よ、よりにも寄つてワ、ワタシのー。“神”の！ムムムネ

女の子がなにかとんでもないことを言っていた気がしたが、もう俺

には聞き取ることができなかつた。

オノケン、不思議の国に拉致られる（後書き）

いかがでしたでしょうか？

感想などを頂けるとたまは狂喜乱舞します。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7662/>

オレの神様育成日記

2010年10月11日08時10分発行